

日本山岳会

# 高尾の森

通信

会員数: 181名 (2020.2.10 現在)

一小下沢風景林の森づくり活動ー



# 安全に作業をするために

副代表 松隈 茂

最近は、転んだり、不適切な道具の使い方などから、 思わぬ危険な状態が散見されます。ここで作業の基本について、 今一度振り返ってみたいと思います。

# 場面を見てみましょう。

### まいているとき

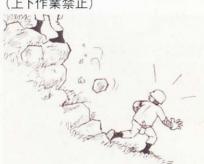
斜面●滑り落ちる、転がり落ちる。

(ヘルメットが命を守る。よく見て動く。)



前の人のところから 石が跳んでくる。

("落"の声。よく見て逃げる。) (上下作業禁止)



**平坦地●つまずく、足を踏み外す、足を捻る**。 (よく見て動く。足の位置)

### 2作業しているとき

**刃物 の刃があたって切れそうになる**。(近接作業禁止)



柄を持った時●勢いよく振ってぶつける。

(正しい道具の使い方)

木・丸太・石。飛んでくる、落ちてくる。

(近接、上下作業禁止)

引っ張ったとき
外れて、切(折)れて、その力で滑る、 転がる。(作業注意)

3 刃物を研いでいるとき

刃物●手を切る。

(刃にさわらない。)



# 道具を見てみましょう。

### 1ナタを使う。

片刃で右利き用のものは、右手で斜め左下に向かって振ると切れるようになっています。切るときは、力が伝わりやすい刃の部分に、大体30度の角度で当たるようにします。

また、ナタ、トビなどの振って使う道具は、刃が木など に当たる瞬間に小指、薬指、中指を握り込んで使います。 体の構えは、右利きの人は右手が前に出ていますので、右 足も前にあります。

刃物は、体に向かって振らないようにします。手で支えたり、少し押して切る場合は、手を切らないように、刃が当たるところより上を持つようにしましょう。また、大振りは力余って足まで行く場合があり、気をつけます(肘を曲げて手の部分が耳からおへその範囲内程度で動かす)。同じような理屈で刃、手や腕が動く動線上に障害物がないことを確認してから、道具を使います。使うときには、体がふらつかないように、足場を固め、安定した姿勢で行います。

刃物は、切る道具なのでよく切れる状態にしておきます。 そのためには、使った後は研いでおきます。研ぐ場合は、 砥石と刃が一定の切れる適切な角度になるようにし、刃が 手に当たらないように動かします。砥石や刃を手だけでなく 足など全身を使って、しっかり固定することが必要です。

### 2/コを使う。



ノコは、手前に引くときに切れるようになっています。押 すときに力を入れると刃がたわんで折れることがあります。 引く場合は、まっすぐ引きます。切り始めのノコ道が出来る までは小刻みに動かしますが、安定してきたら、刃の全体 を使って大きく切るようにします。

切っている途中で、木の中にある力の向きによっては、

刃が挟まれて動かなくなることがあります。 切る前に内部の応力をみて、そのようなこ とがないように考えておきます。

おへその下あたりに体の重心があり、そ のあたりで使うと少ない力で切ることが出来ます。足場を 固め、背中をまっすぐにして位置関係を膝と腰で調節して、 ゆっくり慌てず切るようにしましょう。

### 3カマを使う。

金融づる型

やわらかい草木を切るときは鍋づる型のカマで円弧を描 くように、刈ります。刃が横に動いてザクザクと切る感じで す。ナタ型は、木や草などで硬いものを切るときは、カマ の刃を当てて引くように切り、さらに力が必要なものはナタ のように斜め上から鋭角になるように叩き切ります。

斜面の作業では、ナタの刃は片刃になっています。切れや すくするためです。普通、右利き用なので、右手を前に持ち、 右足を前にして右から左に振り、斜面の上、又は右を上に して横に向かっていきます。逆手、逆足では、作業しない ようにします。

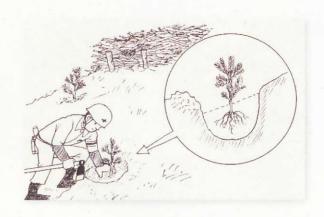
### 4クワを使う。"

クワは作業前に点検して、柄がぐらぐらし ないものを使います。そのためには、クサビ を打ち込んだり、水に浸して膨潤させて動か ないようにしたりして、使いましょう。



穴を掘るときは、枯葉、枯枝、石などを取り除き土を出 します。根株石などが出たら取り除き、太い根はノコなど で切断して取り除きます。石などが落ちやすいので斜面の 下に人がいないようにします。

木を植える場合は、木の根より少し大きめに掘り、根を



広げて土を戻し、苗を手で持ち、足で踏んで根と土を密着 させ水を吸いやすくさせ、最後に落ち葉をかけて乾燥を防 ぐようにします。

## みんなで作業をする場合を 見てみましょう。

次のことが基本になります。

### 【作業前の打ち合わせ™

参加者は、それぞれが何をするかが分かっていないと統 一のとれた作業が出来ません。全員でその日の作業内容、 作業の段取り、作業者の配置、作業場注意すべき事項、 必要な道具など十分打ち合わせて作業に取りかかります。

### 2上下作用の禁止 ...

石、丸太などの転落に危険があります。作業者の位置が 同一斜面で上下にならないように注意します。あらかじめ、 作業中でもお互いに気をつけましょう。

### 3 近接作業の禁止⋯

自分の持っている道具、作業によって人を傷つけてはい けません。道具の類は、手の長さを含めて道具が届く距離 の2倍程度、立木の場合は木の高さの2倍の範囲以内に は近づかないようにします。近づく必要が生じたときは、合 図をして、作業が停止されたことを確認してから近づきます。 近づいて来ているときに、作業を再開してはいけません。

#### 会員紹介 (6)

こんな人じです…本山栄子さん



入会しての 「乾燥芋」!

1年3ヶ月も経ってしまいました。

「高尾の森づくりの会」に入会して早くも とにかく、ビックリしたのはメンバーの 方々の年齢の高さです。

とても追いつけそうもないのは年齢だけ でなく知識、技術、経験の厚み等々、 「二丁刺し」を装着した姿には、格好良 くてホレボレしましたョ。

又、活動内容は、間伐やら植樹・作業 道修復……盛りだくさん。

季節ごとに多様な行事も入ります。

疑惑のない紅葉や桜を見る会、それ等 に伴うお手伝い etc.

やることは、初めての事ばかりです。 この時期 (1/16)、メイプルシロップ原料 の樹液採取準備作業に初参加しました。

外樹皮、内樹皮、形成層、辺材、芯材、 ズイから形成されているとのこと。

ドリルで穴を空けビニール管を埋め込み ポリタンクにセットしました。

秩父では商品化されているらしい?です がいつか「高尾産○メイプルシロップ」 もと思うと楽しみです。自然の恵ってス ゴイですね。

午後からは、ザリクボ滝から尾根への ルートを散策し、台風の猛威により沢が 一変した姿に改めて驚かされました。 これからも、自分のできる事をできる範

囲で活動して行きたいと思っています。

いくつもあるボランティア活動の中でも "森づくり"は比較的危険が伴う活動のひとつです。 今回は、森づくり活動と応急救護ということで、 「RICE の法則」を紹介します。

ところで RICE の法則ってご存じですか??

恐らく、登山をされる方はファーストエイド講習などで、消防署や日本赤十字社で救命講習を受講されたかたはテキストのなかで見たことがあるかと思います。

Rest (安静) / Icing (アイシング) / Compression (圧迫) / Elevation (挙上)

これらはケガした際に早急にとるべき応急処置の頭文字をとったものです。要するにケガした際に患部の炎症や出血を抑えるための方法でもあり、医療機関での診断を受けるまでの間はこの RICE に則った処置を行います。

# 安静 (Rest)

人は体重の約 1.6% (体重 60kg で約 1L) 以上の血液が短時間で失われると出血性ショックを示し、さらに、2.4% (体重 60kg で約 1.5L) 以上の出血で生命の危険があります。このため、ケガを負ってしまった際は、できるだけ安静にし、患部周辺の関節や筋肉に余計な運動をさせず出血を抑えるようにします。



# 森中大晴

# アイシング (Icing)

キズを負った部位は炎症が広がりやすい状態になります。 この炎症がおきると、細胞の破壊、飛散が発生するため、 できるだけ炎症を抑える必要があります。キズを負った部位 を冷却することで、血液循環を抑えることができ、その結果、 炎症を抑えることができます。

- ●アイシングを行う際は、氷水を衛生的な状態(氷嚢等を利用する)で使用し、あくまでも患部局所の血液循環を抑えることを目的とする
- 氷やコールドスプレーによる冷やしすぎは、局所循環の 極度な低下を招くため注意が必要
- ●フィールドなど氷の入手が困難な場合は、冷却ジェルシートで代用することもできるが8時間程度で交換し、氷が入手できるようになれば氷嚢をもちいて冷却する。
- ●氷嚢の氷はできるだけ 0℃の氷を使うようにする (冷蔵庫の氷は氷点下の氷のため一度水にさらして、氷水として使用する)。
- ●氷嚢を用いた冷却は20分まで。連続して使用する場合は60分開けてから、また20分というスパンで使用する
- ●なお、心臓および胸部、皮膚の感覚が麻痺・消失している場合、寒冷過敏症、末梢循環障害はアイシング禁忌



# 圧迫 (Compression)

ケガをした部分(患部) を安静にして固定することが一番 大事な処置であり、出血の無いケガ(打撲、打ち身、骨折等) については、患部を動かないようにすることがポイント。

また、外傷による出血に対して、周囲の組織や血管を圧迫 し一時的に血流量を落とすことによって血小板による止血 を促し、内出血や腫れを防ぎます。

- ●三角巾や手拭い(なければタオル) などの清潔な布を出血部に当て強く押さえて、しばらくの間圧迫する(直接圧迫法)
- ●他人に対して処置をする場合、かならず医療用手袋(なければ穴の空いていないビニル袋を手にはめる)を使用し感染症対策する
- 患部に当てた布は剥がさない。できた血餅(血液中のフィブリンが血球をからめて作るもので、暗赤色餅状の血塊)を剥がすことになり、止血をやり直すことになる
- ●関節圧迫法は、方法、管理が難しいため、良く理解しないうちは実施しない。基本、直接圧迫法で十分対応可能
- ●無理に押さえて締める必要はない。圧迫しすぎることで 痛みが増悪したり、血流阻害したり二次的なケガを誘発し てしまいます。



# 拳上 (Elevation)

主に出血に対する処置となりますが、ケガした部位を心臓 の位置よりも高く挙げておくことで、重力により出血量が 減る効果を期待します。出血している場合は、圧迫やアイ シングと組み合わせて実施する。

出血を伴うケガだけでなく、急な血圧低下時に下肢を心臓の位置よりも高く挙げる。いわゆる下肢挙上もあるため、安静と組み合わせて実施することもある(血圧低下が疑われる下肢挙上は7分を限度に実施し、それでも改善されない場合は、他のケガや症状を疑ってみる)。

- ●脚部を損傷し挙上する場合は、随意的に挙上するのではなく、イスや台などを利用し挙上する
- ●挙上するだけではなく、安静を維持することが重要



ここまでが RICE の法則ですが、最近これにもうひとつ「S」をつけた、RICES の法則が提唱されている。

# 固定 (Stability)

安静の局所(患部) バージョンとも受け止められるが、一理 あることもある。

例えば、骨折経験者は分かると思いますが、骨折してから ギブス固定されるまでに患部が動く状態にあると、動くた びに痛みが走る。そこで、副木を当てたりしながら患部を 固定してあげるだけで、かなり楽になる。

同じように、捻挫・挫き、突き指等も、患部間接をテーピングテープなどでしっかりと固定することで痛みが軽減され、動くことができようにもなる。

- ●テーピングテープには伸縮性テープと非伸縮性テープと がある。ひざ、ひじ等の大きな関節には伸縮性テープで動 きを制限することなく固定し、足首、指、手首などは非伸 縮性テープにてしっかりと固定する
- ●テープを貼る箇所は、ひねった方向と反対方向(曲げたり、 ねじったときに楽な方向) に貼るのが基本
- New-HALE®、足首かんたんスポーツ等、各関節にあわせた固定、半固定用テープもあるので、用途に合わせて使用する。
- ●テープは人によってはかぶれを生じることがあるので、事前にパッチテストしておくと良い

(※編集注、筆者は「応急手当普及員」の資格を持っています。)

# 小下沢 NOTE &



さあ、木下沢林道補修へ出発です!



通行が困難な状況も人力パワーで補修しました。



崩落場所は人海戦術、





新)山ノ神が建立されました



補修後



林道はあちこちで石礫、山積みの状況です。



都有林 PJ で作業小屋新設の作業が始まりました。



新人研修でロープワークを教習しました。



都有林三の沢口、補修前と補修後









忘年会を高尾山口駅前の 「FUMOTOYA」で開催しました。。



今日もたくさんの方が参加しています。



新年の入山祈願を全員で行いました。



都有林 PJ で作業小屋の整地が終わりました。



機械班が小下沢の流木整理を 注意深く実施しています。

\*



後日、設置が無事、終了しました。



新人研修では間伐準備の講習中です。



\*

木下沢林道の補修も順調に進捗しています。





えぐれた林道の復旧作業の段取り説明をして います。

## 業もくじ

\*

141.0
安全に作業をするために02
会員紹介03
森づくりと応急救護04
小下沢 NOTE06
会員紹介08
森の研修会09
機械作業実践講習のご紹介10
幹事会報告]]
事務局からのお知らせ12

\*

## 小下沢 NOTE 冬





本日の作業段取りを確認中です。



植栽地の整備が本格的に

The date

寒い中、たくさんの方が参加しています。





植栽地へのアプローチを作製しています。





植栽地の倒木落下防止の 作業中です。





会員紹介 🕡 こんな人じです…大森千高さん

「入会のきっかけ」



人山岳会に入会し現在も在籍していま す。一緒にお世話になった他の2人も 同じ社会人山岳会のメンバーで数年前ま では毎週のように山に通っていました。

好きな山は谷川岳や穂高岳です。他 の趣味としては定年後に覚えた植木やバ ラの手入れが面白く、趣味と実益を兼ね て吉祥寺で楽しんでいます。

高尾の森の作業については暑い夏の 刈り払いが終わり秋から伐木作業が始ま る予定でした。しかし10月の台風の被 害が大きく、現在は風倒木の撤去作業 のお手伝いをしています。ここ数年は妻 の百名山のガイドで各所の山に登ってい ますが高尾山に限らず気候変動による 山の被害の大きさに驚いています。

今年は子年、6回目の干支を迎える歳 になり体力も落ちてきました。また4年 半前から5回の大きな手術も経験してい ますが体が動く間は何かのご縁で参加さ せていただいた森づくりの活動を通して、 今まで楽しませて貰った山に少しでも恩 返しが出来ればと考えています。いろい ろとご指導頂くことが多いと思いますが よろしくお願いします。

機械作業班の大森千高です。

始まりました。

\*

2年前に小仏峠で高尾山周辺の拡大 地図を購入して眺めていると北高尾に北 側に伸びたきれいな尾根がいくつも並ん でいました。面白いので陣馬山側から順 番にトレースして、昨年3月、いつもの 仲間 3 人(同時期入会の小松信夫さん、 川原洋志さん) で佐戸バス停から無名 の尾根を登って作業小屋の横で休んで いる時に「高尾の森通信」を目にしまし た。この中に「機械作業班募集」の記 事があり、帰宅後メールで問い合わせて 昨年の6月の定例作業から参加させてい ただいています。

山と縁の無い岡山県の海岸育ちです が山登りが好きで大学3年の時に社会

# 「選木の基準と実習」に



青木 亨

# 参加して



受講者は7名

1月25日(土) に行われた間伐の第一段階となる選木 についての研修会に参加しました。講師は当会副代表の松 隈さん、受講者は7名でした。午前は約2時間の座学で、 資料を用いての講義がありました。

約2時間の座学



間伐には樹形や樹冠位置の優劣で選木して間伐し、選木の結果として間伐量が求まる定性的間伐と、間伐量を決めて選木する定量的間伐があり、それぞれにいくつかの方式があります。現在は基本的には定量的間伐で、その中に定性的間伐要素を取り入れて行われているとのことです。その量的な判断は樹高、胸高直径、本数、材積が関係する林分密度管理図に基づいた密度管理で行われます。

スギ、ヒノキ人工林の生育可能な本数は胸高断面積合計が  $80\,\mathrm{m}^2$  /ha とされ、この時の本数が限界成立本数で、直径  $30\,\mathrm{cm}$  の場合は  $1130\,\mathrm{a}$  /ha となります。従来の密度管理では限界成立本数より少ない  $50\,\mathrm{m}^2$  /ha を目安に行われてきました。 $50\,\mathrm{m}^2$  /ha は風雪害に耐えうる木の目安とされる形状比(樹高÷胸高直径)70 の木が生育する森に相応し、直径  $30\,\mathrm{cm}$  の場合は  $700\,\mathrm{a}$  /ha になります。近年は鋸屋式間伐が行われていますが、ここでは胸高断面積を更に低く $30\,\mathrm{cm}$   $35\,\mathrm{m}^2$  /ha にしています。

そして、この方式では立木数を簡便に測定する方法として、4mの竿を回して半径4mの円(50㎡)内の立木数を数えることが行われ、中心木の胸高直径と樹高を測定して、

胸高直径・本数算定表から残す本数を読み取り、立木数 との差を間伐本数とするものです。これを単位量として間 伐地全体の数量を知ることが出来ます。

講義の間に広葉樹の意外な活用例、木曽ヒノキの今後、 風水害に対する間伐の重要性を示す実例等、歴史的ある いはトピック的な話もあって楽しく受講できました。林分密 度管理図を理解するのに少し手こずりましたが、上記の講 義の後、板当地区で実習が行われました。



板当地区で実習

適当な場所を選んで、中心木の選定、胸高直径・樹高の測定、4mの竿を回して半径 4 mの円内の立木数のカウントを行い、表と対比して間伐本数を算出した上で、選木(間伐木の選定)をしました。4mの竿は振り出し式の釣り竿が推奨されているようですが、今回は高枝鋏で代用し、柄を伸ばし、腕の長さを加えて4mのものとしました。4mの円を描くことは場所を替えて1人ずつ順番に行い、本数のカウントと選木は受講者全員が協力して行いました。竿を回すことは、竿がいささか重かったこと、かなりの斜面で竿を回す際に足場をしっかり確保する必要はありましたが、ここまでは特に難しいということはなく、しっかりできたと思います。測定した半径 4mの円内の立木数は9~12本、間伐すべき本数は3~5本でした。

ところが間伐木の選定に入ると、ここでは樹形や隣接木 との間隔等で見方が分かれ、お互い譲らず多数決で決めた ものもありましたが、意見交換の場ともなりました。立木 総数の測定と間伐木数の算出は客観的にできますが、間 伐木の選定は主観が入るのでバラツキは避けられず、セン スと思い切りの良さが問われそうです。

選木は定例作業で体験する機会は少ないので、今回の 研修は間伐作業全体を理解する上で大変参考になり、今 後の活動の中で活かしていきたいと思います。

# 機械作業実践講習の

# ご紹介

皆様、B班の程島と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。 私がチェーンソー特別講習を受けたのは2年半前で、 それ以降2ヶ月に一度、機械作業班が講師陣として開催されている 機械作業実践講習会に、楽しく参加させて頂いております。 今回は、その講習の流れを簡単にご紹介させて頂きます。



程息//

### 準備>>>>>

チェーンソーにチェーンオイル、ガソリンを補充してエンジンを試運転するのですが、2ヶ月使わないと、起動の仕方、混合ガソリンの作り方など、結構忘れてしまいます。 オイルとガソリンを間違えて入れたりしたら大変です。



その他に、やすり、ロープ、ヨキ、クサビ、チャップス、笛、 チョーク等、持って行くものも多いので、忘れ物にも要注 意です。

私も定例作業で小型チェーンソーの「こがるくん」を使うなど、なるべくチェーンソーに触れる機会を作り、ようやく覚えてきました。

準備が出来たら持ち物の確認して現場に向かいますが、この荷物が重い。しかし、この重たさがたまらない! 体力づくりにもってこいだと自分に言い聞かせて現場を目指します。

### 作業>>>>>

現場についても直ぐ切り始められる訳ではありません。 切る木を決めてから一回りしつつ、どう倒すか自分の考え を述べ、講師、受講生の意見も伺い手順を決めるのですが、 色んな考え方があるのでとても勉強になります。

それが終わったら、作業半径のボサを片付けていよいよ伐倒ですが、チェーンソーで倒れる方向を見極めるのは思いの外難しい。よっぽど手鋸の方が方向をつけやすいのです。足元が悪いところで作業をすることも手伝い、自分では水平に切っているつもりでも、エンジン部分が重いから自然と先が上がってしまう。手鋸では切りながらじっくり修正出来るところも、チェーンソーではアッと言う間に切り進んでしまうから大変!修正しようとして更に傷口を広げてしまい、笑っちゃうくらいヘンテコな受け口になったりします。手抜







きをせずに、追い口も受け口も、最初に軌道をチョークで しっかり書いてから切ろうと痛感しました。上手く切れるか は別ですが。

次に本講習で教わる重要な点は、クサビの使い方だと思います。チェーンソーで切る木は手鋸で切る木より太めのものが多いですが太くなって違うのは、伐倒時にクサビを活用するということ。

近くで見ると太くしっかり立っているので実感が沸きませんが、根っこがなければ鉛筆が立っているようなものだから、 実は不安定極まりない。

その状態でクサビを使い、倒す方向をコントロールしながら倒す練習をするのですが、なかなか思いの方向に行ってくれません。受け口の方向が少しズレるだけでも、木の先端部分では何mもずれてしまいます。

色んなテクニックがあるようなので、基本が出来るように なったら上を目指したいと思います。

### >>>>>>>>>>

まだまだ修業が足りないなと毎回実感しますが、狙いの 方向に倒せた時の達成感は格別で、少しでも戸惑わずやれ るよう、進歩していきたいと思います。

経験の浅い方でも機械作業班の皆さんに親切に教えて頂けるので全く心配ありません。

是非皆さんも、伐倒の楽しさを味わいに、次回の講習に参加されてはいかがでしょうか?

# 2020年度 幹事会だより 12月~2月主な報告

■高尾の森が台風 19 号で受けた被害(林道や登山道の崩壊)の復旧作業、4月の会主催 「植樹祭」を実施し、「会員の力を結集して再スタートしよう。」との活発な議論を進めた。

■審議事項及び報告事項(概要):→は決定及び対応内容

**○ ひとこと** 2019 年度も終了時期が 近づいており、各作業班は作業実績や来 期計画を纏めて下さい。

第41回

#### 日時/2月9日(月)

18時30分~20時30分 会場/立川市女性活用センター 参加者/幹事12名、監査役1名

オブザーバ2名

議長/吉川書記/小木曽



#### ①植樹祭 (審議)

→都有林の間伐地で 4/12(日)に実施、一般的募集はせず法人会員と個人会員で行う。実行責任者は松隈副代表、準備/当日作業は作業班が主体に会全員で行う。



- ②東京・神奈川森林管理署との打合せ (報告)
- →会として林道の復旧作業を計画と説明。(署からは重機による工事は検 討中との説明有)
- ③都有林 PI の進捗状況と協力依頼 (報告)
- →道具小屋設置を進めている旨の報告と協力の依頼があった。シイタケ 栽培の申請 / 準備

第42回

### 日時/1月7日(月)

18 時 30 分~ 20 時 30 分 会場/立川市女性活用センター 参加者/幹事 11 名、監査役 2 名 オブザーバ 2 名

議長/吉川

書記/仁藤



#### ①植樹祭 (続編審議)

- →1月定例日に各班メンバーで山見を現地で実施する。(参考:1/11 実施済)
- →定例作業は植樹祭の事前準備に注力する。(植栽地の作業安全から人数 は制限する)
- ②台風被害の林道整備の状況と計画 (審議)
- →林道復旧は各班で担当し、第一ゲート迄軽トラが入れるレベルまでを 目標に実施する。
- →ベース迄は安全に歩行できる状態にする。(参考:12月~1月で延べ 103名が参加)



### ③その他 (報告)

→都有林:道具小屋設置中。(参考:2月定例作業でほぼ設置完了)、来期 作業計画申請準備。

総会予定:6/2(土)で計画、講演会は福島先生(農大)から応諾を得ている。 シカ柵:食害検証用の柵を国有林または都有林に設置する計画有り。(調 査班3~4月希望)

第43回

### 日時/2月3日(月)

18 時 30 分~ 20 時 50 分 会場/立川市女性活用センター 参加者/幹事 9 名、監査役 2 名 オブザーバ 2 名

議長/吉川書記/早川



### ①植樹祭 (継続審議)

- →実施計画、役割、スケジュール及び担当などを検討をした。
- ⇒丸太整理、地拵いなどの準備作業は2月8日から実施、招待者の決定 など。
- ② 20 周年記念イベントの実施内容の意見交換 (審議)
- ➡ 11/21 日を候補に会場、主賓などを検討する。



- ③八王子市主催「2020 環境フェスティバル (3/28 ~ 4/4)、599 ミュージ アムへの参加 (報告)
- →当会からは 高尾の森の動物たちの TV 放映(山崎さん)、横川コレクション展示など。
- ④親子スクール状況
- →林道と実施場所を日影キャンプ場、599 ミュージアムなどに拡大し教室 開催が可能か検討中。
- →開催日は 4/19、5/17、6/14 の日曜日を予定、但し2回になる可能性が 高い。
- ⑤東京都主催「植樹&ハイキング、自然観察会 (6/6)」協力要請有
- ➡対応する。(決定)
- ⑥吉川代表から日本山岳会への入会依頼有り、また、現状について説明 があった。(報告)

### 主な作業・行事記録

12/14	定例作業(忘年会)	83名
12/22	都有林PJ	16名
1/11	定例作業	81名
1/25	森の研修会	7名
1/25	機械作業実践研修会	9名
1/26	都有林PJ	15名
2/8	定例作業	71名
2/22	機械作業実践講習会	
2/23	都有林PJ	

### 会員動向

入会者 ようこそ

退会者 ごくろうさまでした

永野孝明さん(12月)

森泉佑二さん(1月)

### 2020年度 会費・保険料納入のお願い

新年度の会費・保険料の納入をお願いします。

1. 納入には郵便振替をご利用ください。

会報77号に同封したゆうちょ銀行払込取扱票にて納入の場合、 払込料金は会が負担します。

- ●口座記号番号 00160-3-688239
- ●加入者名 日本山岳会「高尾の森づくりの会」
- 2. 他の金融機関から振込の場合
- ●銀行名 ゆうちょ銀行 019(ゼロイチキュウ)店
- ●当座預金 口座番号 0688239
- ●口座名 日本山岳会「高尾の森づくりの会」
- 3. 納入期日 3月23日(月)

3月末に一括してボランティア保険に加入の手続きを行う関係上、 期日までの納入にご協力ください。

### 4. 納入金額

	年会費	ボランティア保険料	合計	
一般会員	3,000円	500円	3,500円	
家族会員	2,000円	500円	2,500円	
学生	1.000円	500円	1,500円	

注1 他の団体等でボランティア保険に加入する場合は、その団体名等を払込票に記入してお知らせ下さい。重複して加入する必要はありません。

注2 従前より機械作業者登録をしている方で、今後この登録を 継続しない方も、同様にその旨を記入してお知らせください。

### 今後のスケジュール (予定)

3/14	定例作業
3/14	東京都高尾山植樹体験&ハイク
3/28~4/5	599ミュージアム「高尾の森と動物たち」
4/4	コニカミノルタ桜まつり出店
4/11	定例作業
4/12	植樹祭
4/15	滋慶出前授業
4/18	滋慶森林体験教室A
4/19	京王親子体験スクール1(予定)
4/26	都有林PJ
5/9	定例作業
5/9~10	みどりのフェスティバル参加
5/15~17	三宅島PJ
5/16	滋慶森林体験教室B
5/17	京王親子体験スクール2(予定)
5/24	都有林PJ

毎月実施する定期活動の専門班/プロジェクト

- ◆ものづくり・小屋管理班 (佐々木リーダー)
- 毎週木曜日、第三土曜日に活動
- ◆哺乳類動物生態調査班(山崎勇リーダー)毎週木曜日に活動
- ◆植物生態調査班(千谷リーダー)
- 毎月第一水曜日に活動
- ◆都有林プロジェクト (日比野リーダー) 毎月第4日曜日に活動



高尾599ミュージアム

### 高尾の森と生き物たち

高尾の森づくりの会の活動を紹介するパネルや、動物カメラ映像、木工作品、横川コレクション等を展示し、会の魅力をPRします。積み木で遊ぶコーナーも設けます。お友達やご家族をお誘いの上、ご来場ください。

- ●日程 3月28日(土)~4月5日(日)
- ●時間 11:00~16:00
- ●会場 高尾599ミュージアム2階展示室

☆会期中、お時間がある方はお客様への対応に ご協力をお願いいたします。

編集後記



高尾のベースに春らしい陽射しが差し込み、鳥たちのさえずりも 聞かれるようになってきました。また、台風被害(昨年10月)の木 下沢林道も一定の補修も終了し歩き易くなりました。最近、寒くて 活動をご無沙汰している方もそろそろ出てきませんか?。(小山圭司)



